



第二中だより

No. 584

開校 55 周年

生徒数 490 名

令和 3 年 11 月 1 日

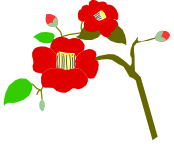
和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「襷」

校長 橋本 真

襷

10月27日（水）、1学期より延期されていた全校生徒による体育祭が開催されました。「襷」、生徒会スローガンです。この襷、現代では日用品や駅伝のバトンに当

たる「襷」ですが、古代、大昔の日本では神事で使う装飾品でした。また、「襷」というこの難しい漢字は中国ではなく、実は日本で作られた文字で、

「駅伝」競技も、「襷」も日本が起源のようです。これまで多くの先輩たちが「襷を繋ぎ続けてきた和光市立第二中学校の体育祭」が1年半ぶりの盛大に開催されましたことに感無量でした。この襷を手にした次の走者である2年生、1年生の使命は、「襷をつなぎ続けること」です。そして「襷を繋ぎ続けること」でクラスと学年、全校の「仲間との絆」が生まれてきます。全力で取り組む皆さんの姿勢、一生懸命な努力や頑張りが、目標を実現する可能性を生みだし、それに挑戦する精神が「個人と集団」の中に創られていきます。このように、「全力で取り組む文化」が豊かな団結をつくり、そこから様々な「豊かな関係」が生まれてきます。随所で笑顔あふれる体育祭でした。この

体育祭に臨んで、皆さんが育んできたクラスの熱い絆をこれから更に、深めて、学校生活に生かしてほしいと思います。

進路を考えるにあたって

11月2日（火）3年生の進路説明会があります。3年生の皆さんにとって、義務教育の終了後の進路実現に向け、「自分の進路をどうするのか」、「自分の進路がどうなるのか」、重大な決定をしなければならない時期となりました。単に中学を卒業したら進学するのではなく、これからの長い人生を展望し、「自

分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」ということも視野に入れて考えてほしいと思います。そこで判断をより適切に、自分の進路実現に意欲と自信をもって臨めるように、先生が加わって生徒・保護者の三者で相談を行います。相談は、生徒自身やご家庭の意向をふまえ、客観的な資料に基づいて、現状で考えられる最もよい方向を共に考え、最終的に生徒の皆さん自身の手でしっかりと決めてほしいと思います。人生の進路は、中学校を卒業したときだけで決定してしまうのではなく、年代に応じて何度も「進路選択」をしなければならない場面があります。この人生最初の進路選択との出会いで、学ぶことをいろいろな場面で生かしてほしいと願っています。

保護者の皆様へ

進路は勝負ではありません。他の生徒と比較すべきものでもありません。「何が何でも〇〇高校を」と進学のための進学になることの無いようにお願いします。納得できるように人生の先輩として助言をしてあげることが大切だと思います。また、これをきっかけに、将来「生きていくための力」を獲得できる機会としてほしいと思います。

生徒の皆さんへ

進路に関して思い悩むことが多くなると思います。そのことから自分の進路決定から逃げてはいけません。これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすには」ということを考え、自分自身の進路を自分で決定してください。

